

令和4年度

小規模多機能型居宅介護事業所

おきなぎの家 「サービス評価」

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年12月 1日 (14:00 ~ 15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	0人	0人	9人

前回の改善計画

(ア) 利用初期には計画作成担当者が収集した情報を基に重点的に様子観察を行い、コミュニケーションを図る事で、ご利用者の状態把握に努める。得られた情報はミーティングやカンファレンスを通して職員間で共有し、記録や評価表を活用して支援方法の検討や見直しに活用していく。

(イ) 事業所で検討や見直ししたことについては、時間を置かず、ご家族・介護協力者と連絡や情報共有を行い、早急に支援内容が確定していけるよう、また相談・提案ができるようにする事で、ご自宅での生活が継続できる体制作りを行う。

前回の改善計画に対する取組結果

(ア) 利用初期については重点的にコミュニケーションをとるように意識し、利用者の情報収集に努めている。また、ご利用者の状態把握に努め、得た情報とご利用者の状態を確認して、対応・検討が必要であれば毎日のミーティングや週1回行っているカンファレンスで支援内容について検討した。

(イ) (ア) で見直した内容については、支援内容を変更し、ケアマネジャーを通してご家族と情報共有を図っている。変更した内容については記録や申し送りに残すようにして職員間での情報共有を図るようにした。ただ、利用初期にはご利用者が生活の変化等により状態に変化がみられる場合もあり、その際の対応が遅れてしまうこともあり、支援内容の確定まで時間が掛かることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4人	5人	0人	0人	9人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3人	6人	0人	0人	9人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3人	6人	0人	0人	9人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3人	6人	0人	0人	9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① 利用開始前にケアマネジャーが作成したフェイスシートを確認し、ミーティングでの情報共有も図っている。

② フェイスシートやケアプランを通して利用者が必要としているサービスを確認し、利用前のミーティングでその日の支援内容を職員間で確認して対応するようにしている。

③ 利用時には適度にコミュニケーションを図るようにしてご利用者が不安なことがないか聞き取るようにして、ケアマネジャーにも伝えるようにしている。サービス中に改善点などがあれば、職員間で相談して改善できるようにしている。

④ 送迎時などご家族と関わるときにはご利用時の様子を伝えるようにし、自宅での生活で困っていることや不安なことがあれば聞き取りようにして、ケアマネジャーにも伝えるようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

なし

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

(ア) 利用前に提供された情報やケアマネジャーが収集した情報を職員間で共有し、事業所内で事前カンファレンスを実施して、より必要な情報がないか職員間で確認を行う。必要な情報があればケアマネジャーを通してご利用者をご家族に確認することで、スムーズに利用を始めることができるように支援する。

(イ) 利用初期には利用前のミーティングで、ご利用者に対する注意点や配慮が必要な点を職員間で確認し合うことで職員全員が利用者の言動、行動、状態の変化に対応できるようにする。

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 2 月 1 日 (14:00 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	0人	9人

前回の改善計画	(ア) 客観的に見たご利用者の変化だけに対応するのではなく、日々のコミュニケーションを重視し、その中で聞き取ったご利用者の生活への希望や思いをミーティングの場や記録などを通して職員間で共有する。定期的にケアプランの変更も行い、ご家族への協力をお願いしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	(ア) サービス利用時にはご利用者と関わる時間を多く持つようにして、ご利用者の思いや希望を聞き取り、ミーティング等を通して、職員やケアマネジャーに伝えるようにしている。必要に応じて支援内容も変更し、ご家族にも説明して同意していただいている。ケアプランについても定期的に変更するようにしているが、ケアプランで設定した目標や取り組みについては、定期的の評価することはできていないこともあり、ご利用者やご家族の希望や思いに対応できているかといった評価は十分にできていない。ただ、日々の関わりの中でご利用者やご家族からは「よかった」と言ってもらえることもあり、一定の支援はできているようである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2人	5人	2人	0人	9人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3人	5人	1人	0人	9人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	5人	2人	0人	9人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2人	6人	1人	0人	9人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ケアプランを通して理解している。
②	ケアプランを通して理解している。
③	ケアプランを通して理解している。日々の関わりの中でご利用者が希望することがあれば、準備・計画して実現できるようにしている。
④	ご利用者とのコミュニケーションや支援しているときに気づいたことや支援したい内容についてはミーティングで報告し、必要に応じて対応方法を変更し、職員で統一したケアができるように共有するようにしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	ケアプランだけではご利用者の目標とすることがわからないことがあるので、日々の関わりの中で理解することもある
②	①と同じ
③	関わりはできていると思うが、気になる事や問題点に着目しがちになっているので、目標に沿った関わりができていないかは分からない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- (ア) ご利用者とのコミュニケーションやご家族との関りの中で、どのような在宅生活を送っていきたいのか職員全員で取り組みを行う。聞き取った内容は職員間で共有し、ケアマネジャーにも働きかけを行ってケアプランへ盛り込んでいくことで、事業所全体でご利用者それぞれの目標について理解していく姿勢を作っていく。
- (イ) ご利用者とのコミュニケーションを通して、ご利用者の趣味や趣向について情報収集する。収集した情報は一覧表にしてレクリエーションや余暇時間の過ごし方に活用し、楽しく過ごせる時間が持てるようにする。

事-②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 2 月 1 日 (14:00 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	0人	9人

前回の改善計画	
<p>(ア) 様子観察やコミュニケーションを通して、ご利用者の生活や心身状態に変化が見られた場合、職員間で情報共有をするだけでなく、変化が起こった背景についての情報も収集し、共有することで、よりご利用者への理解を深める。</p> <p>(イ) ご利用者の心身状態に合わせて、こういった介助方法が適切なのか、勉強会などを行い、介助方法の統一を図る。それによって職員それぞれが同じ対応ができ、ご利用者への不安が少ない介護を行う。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>(ア) ご利用者に変化が見られた場合には記録に残し、ミーティングで報告して情報共有するようにしている。ただ、変化が見られたときに、なぜそういった変化が起こったのか、骨折やケガによる外的要因が背景であれば理解できるが、精神的な変化など内的要因に対する背景への考察は十分にはできておらず、あくまで「こうだったのでは」といった推測でしか判断できていない。</p> <p>(イ) 片麻痺の方の転倒事故があった際には、こういった介助方法が適切なのか職員間で勉強会を行い、同じ対応ができるように統一した。その他、日々の介助でもミーティングやカンファレンスを通して適切な対応方法を検討・実践して統一を図るようにしている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1人	5人	3人	0人	9人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	5人	0人	0人	9人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	8人	0人	0人	9人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4人	1人	0人	0人	9人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3人	4人	0人	0人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	事業所全体としては把握できている。
②	ご利用者が自身でできることは1日でも長く継続できるよう支援し、できていないところに対して必要な介助をするようにしている。食事であれば食べた後の片づけ、排泄であればズボンの上げ下ろし、入浴であれば自分で洗えるところは洗ってもらう、衣類の着脱など。
③	いつもと違う様子や変化が見られたとき、日々の関わりの中でご利用者が思っておられるであろうことがあればミーティングやカンファレンスで報告し、記録に残すようにしている。
④	③と同じく、報告し記録に残すようにしている。またご利用者の訴えや関わる中で体調面での変化が見られれば(例えば、排泄なら腹部の張り、表情、排泄回数など)、すぐに対応できるよう職員間で共有するようにしている。
⑤	ご利用者に変化が見られた場合には③や④のように報告・共有して、対応方法を検討・実践するようにしている。即時対応できるように、必要に応じて通いや訪問回数を増やし、常に状態観察・対応ができるようにサービスを調整するようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 職員個人としては把握できていない方もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(ア) 身体的な側面だけではなく、生活状況や自宅の状況など環境面から改善できるところがないか、訪問や送迎の際に確認し、週1回のカンファレンスの中で、福祉用具の活用や生活面で工夫できることがないか事業所全体で考え、ご利用者・ご家族とも共有できるようにする。	

事-③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 2 月 1 日 (14:00 ~ 15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	2人	0人	9人

前回の改善計画
(ア) 事業所が関わっていない時間に何をしているのか、ご利用者やご家族からコミュニケーションや聞き取りを通して情報収集する。それを基にケアプランに1日の生活リズムを把握して、ご利用者の生活スタイルを理解し、ご利用者の生活に合わせた支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
(ア) 送迎時や訪問時、ケアマネジャーのモニタリングなどでご利用者やご家族から自宅での様子を伺うことも多く、記録に残すことでサービス利用時以外の時間に何をされているのか、どのようなことがあったのか把握するように努めているが、それだけでは1日の生活状況全体を把握するための情報としては不十分となっている。 ただ、サービス利用時にご利用者がどのように過ごしていきたいか、趣味・嗜好などは把握しているので、ご利用者がおきなぎに来た時には過ごしたいように過ごせるよう、過ごされる空間や環境の整備など配慮している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	7人	2人	0人	9人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1人	6人	2人	0人	9人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	8人	1人	0人	9人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	6人	2人	0人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	ご利用者との関りやコミュニケーションを通してある程度は理解できている。
②	地域での行事や活動(サロンなど)あれば、優先して参加してもらうようにサービスを調整するなど支援している。
③	ご利用者と関わる中で普段の生活をどのようにしているのか聞き取りをしている。また送迎や訪問などで出かける際に見かけたときには様子を伺ったりしている。
④	本人様が必要としていることがあれば、役場や地域包括、社協など必要に応じて相談し、情報を収集するようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	生活スタイルはある程度理解できているが、地域での人間関係までは把握できていない方もおり、ご利用者との関りの中で知ることもある。
②	地域での繋がり・関係性が理解できていない方もいるので、支援ができていない方もいる。
③	あまり見かけることがないのでわからない
④	地域にどのような資源があるのか把握しきれていない。ケアマネジャーに任せていることもある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

(ア) ご利用者に関わる中で、どのような生活を送って来られてきたのか、生活スタイル、生活リズムなどご利用者自身の日々の過ごし方を改めて見直し、介護者側の都合でご利用者が望まない過ごし方となっていないか、職員全体で考える機会を持つ。ご家族にも協力を仰ぎ、どこまで支援をして、どこからご利用者の自由にしてもらっていいのか確認する。
ケアプランにもどのような支援をすればよいのかより詳細に記載し、職員間で共有することで、ご利用者がより過ごしたい生活へ近づけるようにする。

事-④

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 2 月 1 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	6 人	1 人	2 人	9 人

前回の改善計画
(ア) ご利用者と関係する事業所や人、関係機関をマップ化して、ご利用者が利用できる資源を明確にする。それを基に、ご利用者の支援を考えるうえで、それぞれの資源が持つ強みを生かした支援に繋がられるように、各資源とも相談や情報共有を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
(ア) 今回マップ化することはできず、ご利用者が利用可能な資源を明確にしてご利用者がどのような資源を利用できるのか職員間で共有することはできなかった。ただ、ご利用者が支援を必要としていることについては、カンファレンスなどを通して職員間で共有はできており、ケアマネジャーを通して移送サービスや見守りサービス、配食サービス、権利擁護の利用には繋がっている。また必要に応じて、通い・訪問・宿泊のサービスを組み合わせて支援できている。特に通い・訪問については当日でも調整・変更することで、ご利用者の予定や体調変化に合わせた対応ができるようにしていた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0 人	9 人	0 人	0 人	9 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1 人	7 人	1 人	0 人	9 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4 人	5 人	0 人	0 人	9 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4 人	5 人	0 人	0 人	9 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 移送サービスや見守りサービスなども活用している。地域の方や親類の方にも、事業所が関われない時間などの支援をお願いするようにしている。
② ご利用者・ご家族が必要としていることに対して、適切にサービスが提供できている。
③ 普段と違う様子や言動、体調の変化があれば記録に残し、ミーティングでも報告するようにしている。
④ ご利用者の体調変化や精神面での不安定が見られれば、訪問や通いを追加するなどその時の状態に合わせてサービス調整をしている。対応の変化も必要であれば、どういった支援が必要かミーティング等を使って職員間で支援方法を検討し共有するようにしている。支援に必要なものがあればご家族や関係機関とも調整するようにしている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
② 必要以上にサービスを提供していて見直しが必要と思うご利用者もおられる。
事業所の体制上、宿泊サービスだけが希望通りに提供できていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

(ア) ご利用者の心身状況、生活環境、介護者の状況などを日々観察し、提供しているサービスが必要な物かどうか、ニーズに対応できているか、職員それぞれが関りの中で常にアセスメントを行う。少しでも修正や改善が必要と思えばミーティングやカンファレンスの中で積極的に働きかけ、提供しているサービスの見直しを行う。

事-⑤

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 2 月 1 5 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	2人	1人	9人

前回の改善計画
(ア) 認知症あんしんサポート相談窓口の活動を継続するとともに、毎月の広報以外でも相談窓口の取り組みについて知って頂く機会を作る事で、行政が対応できない時でも相談できる場がある事を知って頂く。相談などがあれば関係機関とも情報共有し、地域で困っている方への支援につながる活動に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
(ア) 認知症安心サポート相談窓口については、いねばんで広報を継続しており、周知は行っている。今年度は相談がなかったが、問い合わせの連絡を頂くことはあった。その際には地域包括へも連絡を取るようにしていた。ただ、相談窓口の活動を知って頂く機会を作る事ができず、相談件数の増加にはつながっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3人	3人	1人	2人	9人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2人	3人	1人	3人	9人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0人	1人	4人	4人	9人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	0人	3人	5人	9人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	サービス担当者会議にて他事業所と会議を行って連携に努めている。
②	ケアマネジャーは毎月のケアマネ会議に参加し、他のケアマネジャーと情報交換等行っている。運営推進会議を2か月に1回実施し、地域からの意見を頂く機会となっている。
③	コロナの為、地域行事がほぼ開催されていない為、参加はできていないが、最近では出初め式の見学に行くなど、イベントがあれば見学などしている。またゴミ捨て担当の月にはゴミ出し場の清掃を行っている。
④	多目的室にて毎週寿茶屋を開いており、利用者が来られている。近所の方に花を頂くこともある。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②	職員全員が参加しているわけではなく、主にケアマネジャーや役職者が参加している。
③	コロナにより地域イベントがほぼなかったので参加することはできていない。
④	小学校などから交流の話を頂くことはあったが、感染対策の為、お断りしていた。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
(ア) これまで行ってきた施設の広報やブログ等のほか、パンフレットの見直しや関係機関と協力して地域へ出向き、事業所のサービス内容や活動、認知症安心サポート相談窓口について、地域の方に知って頂く機会を作り、利用してみたい、話を聞いてみたいと思ってもらえるような活動に取り組む。	

事一⑥

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 2 月 1 5 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

7. 運営

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	3人	0人	9人

前回の改善計画
(ア) 業務分担について業務改善を行い、業務の偏りを無くす取り組みをする。 それによって職員それぞれの負担軽減が図れると共に時間に余裕を持てるようになることで、利用者との関わる時間を増やしたり、新たな活動を行えるようにする。
(イ) 定期的にサービス内容の評価を行い、適切にサービスが提供されているか見直しを行う。 サービス内容を見直すことで、受け入れ枠を創出して新たな登録者が受け入れできる体制作りを行う
前回の改善計画に対する取組み結果
(ア) 毎月業務改善会議を実施して、業務の見直しを行い、職員への改善の提案を行っている。ただ、職員それぞれの意識変化には繋がっておらず、職員全体の負担軽減には繋がっていない。職員の異動等により体制が十分に整っていなかったこともあり、業務優先となり、新たな活動もできていない。
(イ) サービスの追加、変更が必要であれば、その都度検討し、サービスの調整を行っている。 新規登録者を受け入れる際には受け入れ可能か職員とも相談し、受け入れを進め、今年度は19名まで登録者を増やすことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0人	7人	2人	0人	9人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	7人	2人	0人	9人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	7人	1人	1人	9人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0人	6人	3人	1人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①職員会議やミーティングなどで意見があれば伝えるようにして職員間で共有し、検討することができている。業務改善会議でも改善の提案を常に行っている。	
②意見等があれば職員間で共有し、サービスの変更や調整など対応に繋げている。	
③意見等があれば職員間で共有し、施設運営に反映するようにしている。	
④ゴミ出し場の掃除や回覧板をすぐに回すなど地域の一員として迷惑をかけないようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④コロナ対策の為、地域と協働した取り組みは行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(ア) 事業所全体で業務負担軽減への意識が持てるように、業務改善会議や職員会議の場だけではなく、	

普段行っているミーティングでも職員それぞれが改善していくための方法を提案し、職員全体で考えていく職場風土を作る。

- (イ) 運営推進会議や普段の関わりの中で、ご利用者、ご家族、地域の方から事業所活動やサービスについて積極的に意見を頂き、事業所活動や運営に反映していけるよう、事業所だけでなく、管理者とも相談していく。

事-⑦

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 2 月 1 5 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	0人	9人

前回の改善計画

(ア) 職員への聞き取りを行い、事業所としての弱みを明確にして、弱みを強みに変える事ができるよう内部研修を計画、実施する。またご利用者ごとに最適な介助方法を職員間で相談して、統一したケアに繋げるような勉強会も実施していく。また定期的に評価も行うことで振り返りの機会としての活動に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

(ア) 今年度から職員会議の時間を使い、毎月内部研修を行うようにしている。研修の内容は各委員会に参加している職員に各委員会に関連した内容を講師として講義や演習を交えて行っている。また外部研修に参加した職員がいれば、伝達研修を実施し、職員全体の知識・技術の向上に繋げている。介助方法の統一が必要であれば、統一したケアができるように勉強会も実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3人	4人	1人	1人	9人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0人	6人	2人	1人	9人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	3人	2人	4人	9人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0人	8人	1人	0人	9人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①内部研修を実施し、職員には参加してもらっている。外部研修にはオンラインも含めて複数名の職員が参加している。

②施設内外に問わず、スキルアップに繋がる研修には参加している。事業所で行っている内部研修も職員のスキルアップを目的として実施している。

③主にケアマネジャーや役職者が参加している。

④事業所内の環境だけでなく、訪問先の利用者宅においても、室内の動線などで危険が予測される場合には、環境整備や整理整頓ができるよう努め、ご家族へも助言など働きかけをしている。転倒などの事故が発生した場合には事故原因を職員で分析し、今後同様または類似した事故が発生しないように対策を講じている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②参加できていない職員もいる。

③区の会合などには勤務時間外の為参加できていないが、何かあれば地区の職員から伺うようにしている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

(ア) 内部研修・勉強会への取り組みを継続して行う。内容については職員への聞き取りを行った上で、事業所・職員としての強い、弱みに着目し、強みを伸ばし、弱みを強みに変えていけるよう、よりピンポイントな内容で研修を行う。

(イ) ご利用者への介助方法について、統一したケアに繋がるように、日頃からご利用者の状態把握に努めカンファレンスやミーティングで活発に議論してより良い介助方法の形成に努める。また、ご自宅での生活へも配慮し、ご家族も行うことができる介助方法を模索し、ケアマネジャーを通してご家族にもケアの統一を働きかける。

事一⑧

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年12月15日 (14:00 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 塚原 坂根 森下 白藤 仮谷 奥野 山本
太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	1人	1人	9人

前回の改善計画

(ア) ご利用者に対して適切なケアが行われていない様子があれば、些細なことでも職員間で情報共有して事業所全体で経過観察していく。必要に応じて、ご家族や関係機関へ相談できるよう記録とは別に評価表を作成する。

(イ) 職員それぞれの利用者への関わり方について定期的に自己チェック表を作成して、振り返りの機会とできるようにする。チェック表をもとに職員それぞれの強み弱みを明確にして、職員各自で改善していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

(ア) 評価表については作成できていないが、自宅での様子で、適切なケアや拘束に近い対応が行われている様子が見られれば経過観察し、ご家族にも様子を伺うなど継続して様子を見るようにしていた。ご家族への相談や見聞きした様子については記録に残すようにしていた。

(イ) 自己チェック表の作成ができておらず、職員それぞれの振り返りを行うことができなかったが、事業所として、ご利用者への関わり方で改善が必要であればカンファレンスやミーティングにて改善を提案して、関わり方の改善に繋げるようにしていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6人	3人	0人	0人	9人
②	虐待は行われていない	6人	3人	0人	0人	9人
③	プライバシーが守られている	5人	4人	0人	0人	9人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0人	4人	0人	5人	9人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5人	4人	0人	0人	9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②事業所ではしていない。ご自宅でそういった場面が見られればご家族へ助言を行い、経過観察するようにし、管理職へも定期的に経過の連絡をしている。

③職員からご利用者個人のことに、他のご利用者や地域の方へ話すようなことはしていない。

④成年後見制度を利用されている方はおられないが、権利擁護事業を利用されている方はおられる。

⑤関係機関と連携を取る際には必要最低限の情報提供を行うようにしている。ご利用者・ご家族には、事前に許可を頂いている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

なし

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- (ア) 訪問や送迎先で不適切なケア等の事案が発生した場合にどのように対処すればいいのか、職員間で対応を統一できるように内部研修などの機会を作り、職員間で共有することで、いざというときに迅速に対応できる体制作りを行う。
- (イ) 事業所・ご自宅で適切なケアが実施されているのか評価表を作成して評価するとともに、職員の関わり方が適切かどうか自己チェック表を作成して自己啓発できる取り組みを行う。

事-⑨

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 与謝郡福祉会	代表者	長寿苑施設長 嶋崎 福寿	法人・ 事業所 の特徴	(法人) 与謝郡の福祉の担い手として、質の高い人材育成と職場環境の改善に努める
事業所名	おきなぎの家	管理者	塚原 直樹		(おきなぎの家) もうひとつの家という考えのもと、住み慣れた家・地域で安心して生活ができるように、1つの事業所で「通い」「訪問」「宿泊」と3つのサービスを柔軟に組み合わせ、顔馴染みの職員が対応する事で、安心できる生活を送って頂きます

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	人	人	人	人	4人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が設立され10年目を迎え、毎年少しずつではあるが地域に貢献でき、名を知ってもらえる機会も職員みんなで作る事ができた。まだ課題として残っている改善計画をしっかりと受け止め、チームで話し合い取組み、達成できるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍という制約が多い中で、主に地域との関りについて、計画していたことが達成できない事が多かった。ただ、かわら版の発行や掃除などの地域活動への参加は継続しており、地域と繋がりが途切れないようにしていた。 	<p>Q:職員評価について、「できている」「できていない」のチェックが項目によってばらつきがみられるが。</p> <p>A:本来職員個人の目で見ても事業所としてできていたか項目ごとにチェックを付けてもらう所、職員個々人が自分はどうだったのかと考えてチェックを付けたためばらつきがみられるようになった。来年度は再度周知徹底して取り組むようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策に留意しながら、職員それぞれが改善計画を意識し、少しずつ地域での活動も再開していき、地域でのイベントが再開されれば積極的に参加していく。職員それぞれができることを考え、話し合い、取り組むことで課題を達成していけるよう努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者、ご家族、地域住民の声を大事にし、おきなぎの家が町民にわかるように看板又は目印となる物を設置できるように町の担当者と相談し、計画・実行できるように努める。 設立して10年を迎え、事業所内・外のしつらえ・環境・不良箇所等ないか日々の業務の中で気 	<ul style="list-style-type: none"> 看板の設置については町とも相談をしていたが、条例の関連で看板の設置は難しく、実現はできていない。 事業所のしつらえについては、不良箇所については即座に対応するようにして業務への負担を軽減するように努めた。特にコロナ対策の為、食堂やリビングでの 	<p>Q:事業所の表側はきちんとできていると思うが裏側は出来ているのか、近隣の方からは見えている所なので改善した方がいい。</p> <p>A:裏側については整えておらず、近隣の方にはよく見えていると思うので、今後、清掃、整頓に取り組んでいく。 (事業所職員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の表側だけでなく、裏側や事業所内のしつらえ・環境を見直し、利用者だけではなく、近隣の方や来所された方、寿茶屋の利用者にも気分よく過ごしていただける環境作りに努める。

	づきを持つ事、又直ぐに対処できるよう職員同士声に出し、整った環境の中にご利用者の方に生活してもらえようにする。	テーブルや椅子の配置も変更して、感染対策へ留意した。	・家族や地域の方が事業所に入りやすいかは普段の様子を見ていないので分からない。	
C. 事業所と地域のかかわり	地域で行われるイベントには積極的に参加し、又事業所でイベントをする時には、住民に声を掛け来訪してもらえようことで繋がりが持つ輪も広がり、おきなぎの家を前年度より一人でも多くの方に知ってもらえようように努める。	コロナの影響で地域でのイベントや行事がほとんど中止されたことで参加自体ができなかった。事業所でのイベントも感染対策の為、地域の方に来ていただくことが難しく、活動に繋げることはできなかった。	・伊根地区の住民には周知ができていると思う。場所も知っている方が増えてきている。ただ、本庄や筒川地区の住民は知らない人が多いのもっと知ってもらおう必要があると思う。 A：以前、かじか苑で行っていたサロンに来て頂いていた筒川地区の方にはかわら版ができた時に配布して繋がりを保つようになっているが、それ以外の広報活動は特にできていないので今後取り組んでいく。 (事業所職員)	・伊根地区のイベントだけでなく、本庄地区や筒川地区で行われるイベントにも積極的に参加しておきなぎの家を知ってもらえる機会を多く作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	サービス利用していない方を対象とし、各地区の民生委員の方と一緒に独居高齢者や老々介護しておられる方等、これから先サービスが必要になると思われる方宅を訪問し、(見守りサービス)今後何かのサービス利用に繋がるきっかけ作りができるようにする。又、伊根地区以外の住民の方にも事業所を知ってもらえようような機会を作る。(かわら版を配りながらお宅を訪問する等)	民生委員の方と一緒にお宅へ訪問する活動はできていない。筒川地区の方には、以前活動していたかじか苑サロンに参加していただいた方を中心に、かわら版ができると配らせてもらい、関係が繋がるようにしていた。	Q：民生委員との活動に絞らず、違った方面からも関わりを持つ活動を考えてはどうか。 A：民生委員に限らず、役場や包括支援センター、地域住民にも協力してもらえようような活動を検討していく。 (事業所職員) ・おきなぎの家を知ってもらえようにもかわら版などの配布をもっと広げて行ってほしい。 Q：かわら版の全戸配布などはできないか。 A：印刷については業者でも	・かわら版などの広報誌を広く活用するために、関りの少ない地域にも配布やいねばんでの配信などを検討して、より広く多くの方におきなぎの家での活動や事業内容を知って頂くように努めていく。 ・地域包括支援センターや役場と連携を取りながら、民生委員・地域住民と繋がりをもち、地域で気になる方、サービスを必要としている方がおられれば、こちらから話を伺いに行く機会や認知症あんしんサポート相談窓口に来てもらって相談できるようにする

			<p>らえれば費用を抑えられるし、いねばんを活用して発信することもできる。</p> <p>(役場職員)</p>	<p>など、支援できる体制作りの一助となるよう努める。</p>
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>事例検討も含め事業所の改善点と一緒に話し合い意見をもらい、運営推進会議メンバーに協力依頼できる内容であれば一緒に取り組みをする。</p>	<p>運営推進会議メンバーに協力依頼することはなかったが、運営推進会議を通して地域の状況などを情報提供して頂く場となった。</p>	<p>Q:運営推進委員としておきなぎの家の事業で活動協力などはしていないし、委員へ協力を仰ぐような事例はなかったのか。</p> <p>A:そういった事例はなかった。</p> <p>(事業所職員)</p> <p>Q:検討事例が無い場合には議事録に残すようにしてはどうか。</p> <p>A:今後そのようにしていく。</p> <p>(事業所職員)</p> <p>・民生委員へ気になる方がいないか聞かれた事もなかったので聞いてもらった方がいいと思う。</p>	<p>・地域の方が集まって会議ができる長所を最大限活用し、地域でのイベントや活動の情報収集を行い、どうすれば事業所の活動に活かしていけるか相談していく。</p> <p>・利用者の中で、地域での生活を支えるために、情報が必要な場合には会議にて相談に掛けていき、多方面からの意見を頂くことで、利用者の事を知ってもらう機会となり、事業所だけでなく、地域でも見守ってもらえる環境作りに努める。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>・災害時の受け入れができるよう勤務調整する。(早い段階で想定した対応)</p> <p>・地域住民を交えて防災、防犯訓練ができるように計画・実行する。</p>	<p>・大きな災害はなかったが、いつでも勤務調整できるよう準備はできている。</p> <p>・事業所では防災・防犯訓練をしていたが、地域の方と共同で訓練することはできなかった。</p>	<p>・地域の方と訓練ができていないので地域の方も交えて行って欲しい。</p> <p>A:今後できるように取り組む。</p> <p>(事業所職員)</p> <p>・事業所の防災計画見る機会がないので、見れるようにしてほしい。</p> <p>A:今後見てもらえる機会を作る。</p> <p>(事業所職員)</p> <p>Q:地域の防災訓練に参加しているのか分からない。</p> <p>A:J アラート、地震訓練の放送があったときには、利用者にも声を掛けてその時の動きをする</p>	<p>・災害時の受け入れができるよう、定期的に物資や避難場所、設備の点検を行い、不慮の事態にも対応できるよう整備しておく。</p> <p>・消防訓練、災害訓練、防犯訓練を行う際には地域住民、民生委員にも声を掛けて参加や見学をしてもらう機会を作り、災害時等に事業所がどのような動きをしているのか知ってもらう。</p>

			<p>ようにしている。 (事業所職員)</p> <p>Q:地域の訓練に参加したときには会議で報告してほしい。 A:そのようにさせてもらう。</p> <p>・事業所の訓練に参加したことがないので実施する時には連絡してもらえれば参加はしなくても様子を見に行くこともできると思う。</p>	
--	--	--	---	--

